

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-30℃～+85℃ (注1)		保存温度範囲	-10℃～+60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	40%～80% (注2) △		保存湿度範囲	40%～70% (注3) △	
	電 圧	AC 250 V	UL・CSA 定格△	AC 30 V		
	電 流	2 A		2 A		
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。		30 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。△		①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35℃ 時間 30 → 5~15 → 30 → 5~15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	半田耐熱性	【 70-半田付けの場合 】 半田温度 260℃, 10 秒間で試験する。△ 【 手半田の場合 】△ 半田ごてで 300℃, 2 秒以内の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。		外觀の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—
	半田付け性	半田温度 230±5℃, 浸漬時間 3秒間の半田付けを行なう。		半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。	○	—
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 結露のないこと。△ (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用△						
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△	8	DIS-H-001936		TT. OHSAKO	HK. UMEHARA	07. 04. 05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				承認	KJ. KATAYOSE	05. 01. 05
				検 図	TY. OMA	05. 01. 05
				担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
				製 図	IO. DENPOUYA	05. 01. 05
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番	SLC4-020820-01	
HRS	製品規格表			製品名	DF11-14DP-2DSA (30)	
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL543-0522-5-30	△ 1/1